

吹田市千二地区公民館

平成 30 年(2018 年)度主催講座年間計画について

来年度の主催講座については4月に年間計画を定めてそれに沿って実施することを基本としたいと思っております。本来なら昨年未あたりに会議をして年間計画が決まっていけないのでしょうか。ですから、来年度分についてはある程度の線を決める、ということにとどまる、と考えています。基本的に、それ以降にでる新しい講座案は次年度分として検討する、ということにします。ただ、今年はまだ未確定要素が多いままでの出発になるので、よいものがあれば検討すればよい、と思っております。皆さんには3月20日ころまでに来年度実施すべき新たな講座案を提出していただくようお願いいたします。およその日程で結構です。講師が未定でもかまいません。

下の表は本年度実施して来年度も継続実施する可能性の高いものを中心に月ごとに適当に割り振ったものです。これに委員の皆さんの新たな提案を加えて4月の会議で検討して年間計画とします。

月	講座名	
4月	健康体操2 古文書講座2 ビーズ イラン料理 館外講座	7/5
5月	健康体操2 古文書講座2 春のコンサート 産後ママヨガ 須田料理	7/5
6月	健康体操2 古文書講座1 絵手紙 折り紙 リズム体操 歌声ひろば	6/5
7月	健康体操1 古文書講座2 社明運動講座 せみ	5/4
8月	健康体操2 古文書講座2 動物 産後ママヨガ	5/4
9月	健康体操1 古文書講座1 歌って英語 リズム体操 歌声ひろば	5/5
10月	健康体操2 古文書講座1 折り紙 須田料理	5/4
11月	健康体操2 古文書講座2 絵手紙 秋のコンサート 産後ママヨガ 人権共催バス旅行	8/6
12月	健康体操2 古文書講座2 リズム体操 須田料理(シュトーレン)	5/4
1月	健康体操1 古文書講座1 歌声ひろば	3/3
2月	健康体操2 古文書講座1 折り紙 落語大学3 産後ママヨガ	8/5
3月	健康体操2 古文書講座2 歌って英語 リズム体操 須田料理	7/5

講師料発生 48/コマ数 71/講座数 55 講師料ざっと 300,000 円

講座の傾向を見ると高齢者向けが極端に多く子どもや若い人を対象とする講座が少ないことがわかります。テーマでは情報化、子育て・青少年、環境保全、安心・安全、男女共同などが少ない、あるいはない状況です。そのあたりを考慮に入れて提案をお願いします。

平成 30 年度主催講座提案書

提案者

講座名	
内容	
実施時期	
対象・人数	
講師	

講座名	
内容	
実施時期	
対象・人数	
講師	

講座名	
内容	
実施時期	
対象・人数	
講師	

講座名	
内容	
実施時期	
対象・人数	
講師	

具体的な形になっていなくてもかまいません。

こんな感じの講座があったらいいのに、とか、中学生を対象にして「なにかやりたい」とか。

夢は大きいほうがいい。

吹田市千二地区公民館平成 30 年(2018 年)度年間計画

月	行事名	地域行事等
4 月	講座年間計画決定、議長等決定、文化祭準備会立上	連合・自団協総会
5 月		子どもカーニバル 福寿会総会
6 月	委員依嘱、文化祭吹田市説明会、文化祭出演等募集、 文化祭実行委員会立上	
7 月	社明運動講座、文化祭説明会	
8 月	大掃除	夏まつり、たそがれ コンサート
9 月	文化祭出演等締切、打合せ会	
10 月		市民体育祭
11 月	文化祭(11/3, 4)	
12 月	次年度計画(行事、講座)提案 大掃除	
1 月	次年度計画決定	
2 月		
3 月		

備考：

主催講座 打合せ記録

講座名：大人のピアノ体験講座

日時：2018年02月18日（日）13:50～15:00

場所：千二地区公民館 調理室

出席：講師 濱根

公民館 永松 岸田 柏谷

講師意見

講座の趣旨：高齢者対象。ピアノの演奏技術の獲得が主たる目的ではなく、指を動かすことで脳トレになり、お話の時間、歌の時間を入れたりすることで楽しい時間を過ごしてもらいたい。グループ「マーガレット」の参加者拡充にもつなげたい。

公民館意見

大人のピアノ体験講座は過去に数回実施しているが何が主たる目的かわかりにくい。

参加者が集まらない、タイトルなどに工夫がいる。

ピアノが弾けるように、というなら数回の連続講座にして到達目標も示す必要があるのでは？

グループの勧誘なら主催講座ではなく、グループで実施しては？公民館がバックアップはする。

高齢者は歌うのが好き。先生の生ピアノで歌うのをメインで指の運動なども取り入れては？

とにかく人を集めないと。数人だと楽しくないし声も出ない。集めようところが思う魅力に欠ける。

易しい楽器（打楽器や鍵盤ハーモニカなど）を取り入れてアンサンブルの楽しみをつくっては？手助けはする。

否定しているのではない。一緒に工夫をして良い講座にしたいと思っている。

合意事項など

公民館側の提案には理解を示されたが、その場では合意にまで至らなかった。講師が講座内容について再考することで打ち合わせを終えた。実施するかどうかを含め、講師からの連絡待ち。

備考

講師からの提案には、受けるにせよ断るにせよ、公民館の主催講座はこういう趣旨で実施する、という基準を示す必要がある、と岸田さんから指摘がありました。

主催講座企画書(案)

作成者：

作成日時：

講座概要	講座名			
	企画理由			
	講座の内容			
	開催年月日			
	開催時間			
	開催場所			
	参加予定人数			
	対象			
	募集人数			
	受付方法	電話・来館（開始日： ）その他		
	参加費			
参加者持ち物				
講師	講師名			市への登録：有無
	連絡先	電話	携帯電話	メール
	プロフィール			
	助手名			市への登録：有無
	連絡先	電話	携帯電話	メール
	プロフィール			
	講師謝礼			
助手謝礼				
広報	市報			
	公民館だより			
	チラシ			
	その他			
準備： 司会 公民館 挨拶 参加者名簿 受付 資料作成 会場の しつらえ 控室 等				
会場の確保	仮予約日時・担当		申請日時・担当	
経費等				
備考				